

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち			評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実				課(室)名	都市計画課
	施策	中心市街地の活性化				電話番号	087-839-2455
	基本事業	豊かな居住環境の充実			事業実施主体	市	
	事務事業	高松丸亀町商店街再開発事業			事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	中央商店街の活性化と土地の合理的かつ適切な高度利用による都市機能の集積を図るため、中心市街地活性化基本計画に基づき、高松丸亀町商店街において、商業・サービス業の魅力強化と効果の波及や来街者の回遊性向上、まちなか居住の促進に資する市街地再開発事業等を推進する。						
6年度概要	①DE街区市街地再開発事業に関する指導・支援 ②丸亀町Gが借用している都市開発資金の国への償還金 ③事務費						
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-④	事務事業の種類	③インフラ・施設等整備		

【事業の目的】

対象（何を）	高松丸亀町商店街
意図（どのような状態にしたいか）	丸亀町商店街において、再開発事業を推進することで、商店街のにぎわい創出を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① 補助金の交付件数	件	1	1	1	1	1
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
カメラ計測による丸亀町商店街の歩行者等通行量	人／日	目標値	21,212	21,439	21,677	21,895	21,677
		実績値	21,586	23,884	25,027		
成果指標①	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市街地再開発事業の実施により、商店街のにぎわい創出につながり、丸亀町商店街の通行量が増加した。		(達成度) 115.9% 35点				
大工町・磨屋町市街地再開発事業進捗率（事業費ベース）	%	目標値	80.6	88	100	0	100
		実績値	71	80	100		
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 前年度からの繰越分、現年度分ともに完了し、目標としていた事業が完了した。		(達成度) 100.0% 35点				

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	1,795,436	882,899	830,861	66,402
（事業費）	〔円〕	1,776,410	869,503	818,140	48,789
（職員人件費）	〔円〕	19,026	13,396	12,721	17,613

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	統合
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 令和 3年度から磨屋町街区の既存建築物除却工事に着手、4年度には同街区の施設建築物工事に着手した。着実な事業進捗のため再開発組合に対して、指導・支援を行い、5年度に事業が完了した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 繰越および現年の磨屋町街区の施設建築物工事の年度内完了をもって事業を完了することができた。丸亀町商店街の次期再開発計画のDE街区の支援・指導を国及び県と連携しながら進めていく。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち			評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実				課(室)名	都市計画課
	施策	中心市街地の活性化				電話番号	087-839-2455
	基本事業	豊かな居住環境の充実			事業実施主体	市	
	事務事業	南部3町商店街における優良建築物等整備事業			事業期間	平成33年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	まちなか居住を促進するための共同住宅を整備するとともに、立地適正化計画に基づく都市機能誘導施設となる診療所など、まちなか居住の利便性を向上させる施設を整備する優良建築物等整備事業を推進する。					
6年度概要						
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	③インフラ・施設等整備	

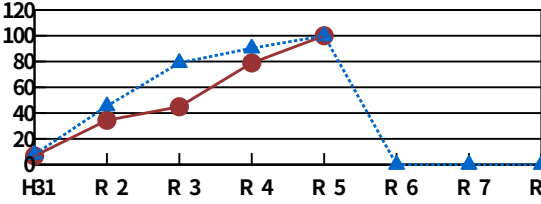
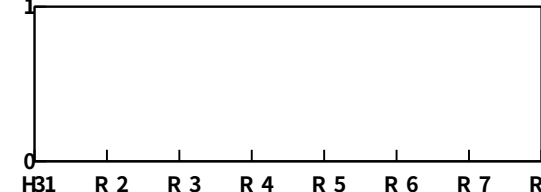
【事業の目的】

対象（何を）	南部3町商店街
意図（どのような状態にしたいか）	優良建築物等整備事業の実施により、まちなか居住を促進し、商店街の活性化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① 補助金の交付件数	件	0	1	1	0	1
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標① 事業進捗率（事業費ベース）	%	目標値	79	90.3	100	0	100
		実績値	44.9	78.9	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 100.0%
前年度からの繰越分、現年分ともに完了し、目標としていた事業が完了した。							35点
(目標達成度)							
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標②		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	円	80,259	219,529	133,643	0
（事業費）	円	66,820	209,800	124,460	0
（職員人件費）	円	13,439	9,729	9,183	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	統合
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
令和2年度から施設建築物工事に着手しており、着実な事業進捗のため、民間事業者に対して、指導・支援を行い、5年度に事業が完了した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
繰越および現年の施設建築物工事の年度内完了をもって、事業を完了することができた。			